

# さが県議会だより

令和2年9月定例会

No.47  
2020年12月1日発行

## 9月定例会概要

令和2年9月定例会は、9月8日に開会し、23日間の会期を経て、9月30日に閉会しました。  
本定例会では、令和2年度一般会計補正予算案など28議案が審議され、予算議案及び条例議案等18件、意見書案4件、決議案1件が可決されたほか、教育委員会委員の任命などの人事議案2件が同意されました。  
なお、「令和元年度佐賀県歳入歳出決算の認定について」など2件の決算議案は、決算特別委員会に付託され、継続審査となりました。

## 令和2年度補正予算案を可決

6月補正後の情勢の推移及び令和2年梅雨前線豪雨災害に迅速に対応するとともに新型コロナウイルス感染症拡大の防止と社会経済活動を両立させていくための事業費など、令和2年度一般会計予算に129億7,099万円を追加する補正予算案（追加後総額6,241億1,016万円、対前年同期比33.3%増）のほか、財政調整積立金特別会計補正予算、港湾整備事業特別会計補正予算、国民健康保険事業特別会計補正予算の合計4件の補正予算案が原案どおり可決されました。

## 委員会ピックアップ —閉会中の動き—

10月に議会改革検討委員会で、和歌山、奈良、三重、広島の4県議会の視察しました。

視察先では、本会議における質問方式（一問一答）や、予算特別委員会の運営状況、本会議における聴覚障害者への対応、全員協議会の運営状況、議会のICT化、「議会だより」にかかる編集委員会について説明を受けた後、質疑が行われました。

また、本会議場や委員会室の視察も行いました。

和歌山県議会の視察



三重県議会の視察



奈良県議会の視察



広島県議会の視察



主な内容

- 9月定例会の概要など ..... 1
- 本会議質問 15人の議員が行った主な一般質問と答弁要旨 ..... 2～5
- 委員会の概要 各常任・特別委員会の主な審議事項等 ..... 6～7
- 可決された条例、意見書など ..... 8

「インターネット議会録画」や「会議日程」、「会議録」などがご覧いただけます。

佐賀県議会

検索

## 本会議質問

本会議では、9月14日～16日に一般質問が行われ、次のような質問・答弁の内容を中心に、県政全般にわたり幅広い議論が展開されました。

### 質問議員

※質問順

#### 一般質問

#### 9月14日(月曜日)

- 土井敏行(自由民主党)
- 徳光清孝(県民ネットワーク)
- 井上祐輔(日本共産党)
- 木村雄一(公明党)
- 野田勝人(県民ネットワーク)

#### 9月15日(火曜日)

- 富田幸樹(自由民主党)
- 古川裕紀(自由民主党)
- 一ノ瀬裕子(佐賀護花の会)
- 八谷克幸(自由民主党)
- 藤木卓一郎(自由民主党)

#### 9月16日(水曜日)

- 西久保弘克(自由民主党)
- 古賀和浩(つなぐ会)
- 池田正恭(自由民主党)
- 定松一生(自由民主党)
- 木原奉文(自由民主党)

## 一般質問

### 政策・総務

#### 激甚化する災害への対応



県内に甚大な被害をもたらした昨年8月の佐賀豪雨災害の記憶もまだ新しい中、今年7月には熊本をはじめ、全国各地に甚大な被害をもたらした令和2年7月豪雨災害が発生し、本県においても、3年連続で大雨特別警報が発表され、県西部地域を中心に住家被害や土砂崩れなど大きな被害が発生した。

今後も激甚化する災害にしっかりと対応していく必要があると考えるが、県とつてどのように対応していくのか。



災害対策は、ハード対策とソフト対策の両面から取り組むことが必要と考える。

ハード対策については、牛津川遊水地整備などの河川激特事業(※)、城原川ダム建設事業などをはじめとした河川の氾濫対策のほか、金立川など土砂災害防止対策を進めていく。また、ダムなどの既存施設の適切な維持管理、事前放流など様々なオペレーションの熟度も上げていく。

ソフト対策については、県民一人一人の防災意識を高め、自らの命を自ら守る自助、そして地域で支え合う共助の充実を図っていく。

これまでの災害対応の積み重ねにより、市町、関係機関を含めた佐賀県の災害対応力は着実に上がってきている。災害において一人の死者も出さない、救える命を救うという強い気持ちを持って、全庁挙げてハード、ソフト両面からしっかりと備えていきたい。

#### 用語解説

【河川激特事業(正式名称:河川激甚災害対策特別緊急事業)】洪水・高潮等により激甚な被害が発生した河川について、概ね5ヶ年を目途に改良事業を実施することにより、再度災害の防止を図るものです。

(引用元:国土交通省水管理・国土保全局HP「河川事業概要2020」より)



▲牛津川河道掘削状況 (出典:武雄河川事務所HP)

## 地域交流

### 九州新幹線西九州ルート



九州新幹線西九州ルートの新鳥栖―武雄温泉間に関して、佐賀県はそもそも新幹線を求めておらず、フル規格による整備は受け入れられないとの見解を示している。

県民が西九州ルートに関する判断に資するような正確な情報を提供し、その上で県民の意思をくみ上げて、西九州ルートに関する佐賀県の姿勢を決定するべきであると考え、県の見解を伺いたい。



新幹線の議論については、県内でも地域によって濃淡があると認識しており、実際、長崎においても、新幹線ができて、「かもめ」がなくなるといった話はあまり知られていないとも聞いている。もっと県民に知っていただく必要があると考えている。

九州新幹線西九州ルートについて、県がどう向き合っているかなど、県の様々な広報ツールを通して県民への情報提供を検討していきたい。

佐賀県は様々な議論を行うことを閉ざしていないので、真摯に向き合っており、幅広く協議を行っていく。

「SAGA2023」



**問** 先日、知事は、鹿児島県や日本スポーツ協会、スポーツ庁からの要請を受け、2023年に照準を合わせて頑張ってきたターゲットエイジの子供たちや指導者のことも思いながら、佐賀県での国民スポーツ大会・障害者スポーツ大会「SAGA2023」を2024年に開催することを表明された。

延期された場合、県の大会準備にどのような影響が出るのか。



**答** 競技運営の面では、既に日本スポーツ協会へ提出している大会会期案のほか、これまで市町や競技団体と調整を行ってきた競技別会期案について、現行案をベースに再調整が必要となる。

このほか、広報活動や競技役員の養成、情報ボランティアの養成など、継続的に取り組む必要がある事業についても、準備期間が1年延びることにより相応の負担増が生じる。

延期に伴う県の準備経費に係る影響については、国に対して要望できるものは要望していきたいと考えており、開催準備に少なからず影響はあるものの、市町や競技団体の皆様と一緒に、最初の国民スポーツ大会にふさわしい大会を目指して、チーム佐賀、オー

ル佐賀でしっかりと準備を進めていきたい。

そして、1年延期になった場合には、鹿児島の大会と佐賀の大会をいわば双子の大会として、鹿児島も本番、佐賀も本番と位置づけて、両大会を通じて互いの選手や県民が地元選手のごとくエールを送り合うような大会を目指したい。



▶大会開催決定書交付時の様子(東京都)  
(左)日本スポーツ協会 伊藤会長、(右)山口知事

健康福祉



新型コロナウイルス感染症に  
対応した避難所運営への支援

**問** 9月6日から7日にかけて台風10号が接近し、ピーク時には全20市町に301か所の避難所が開設され、2万人を超す人が避難されたと聞いている。

県はこれまで新型コロナウイルス感染症に対応した避難所の運営支援についてどのように取り組んできたのか。



**答** 県では、5月末に新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営マニュアル作成指針を作り、避難所の運営主体である市町に対し、3密対策など具体的な感染防止策を示した。また、「災害時においては、新型コロナウイルスへの感染を含めて、何よりも差し迫った危機から身を守ることが最優先」であることを明記するとともに、このことについて、新型コロナウイルス対策本部会議において、知事から県民の皆様呼びかけを行ってきた。

さらに、6月には市町からの要請に基づき、感染防止のための物資として、マスクを14万枚強、アルコール消毒液を400本強提供したところである。

また、大規模災害の発生など、避難生活が長期化する場合に備えて、災害時の医療や福祉の専門家チームと平時から連携を取り、各種訓練や研修を通して、顔の見える関係の強化を図っている。

このほか今年度は、新たに佐賀県旅館ホテル生活衛生同業組合と災害時における宿泊施設の提供に関して協定を締結しており、避難が長期化し、健康上、特段の配慮が必要な方については、旅館やホテルの活用もできるように準備している。

今後も、避難所の運営主体である市町からの要望や意見を聞きながら、災害時に配慮が必要な方の事情に寄り



▲佐賀県災害派遣福祉チーム(DCA T)の研修会

添った避難所運営がなされるよう、引き続き市町に対して助言や支援を行っていく。

## 県民環境



### 玄海原発

**問** 原子力災害時の避難については、通常時であっても大変困難な状況があると思うが、コロナ禍にある今は、その困難性はより大きくなっているのではないか。

11月7日に開催される今年度の原子力防災訓練の内容について、どのような検討をしているのか。



**答** 今年度の訓練では、感染症流行下での屋内退避や避難などの防護措置の基本的事項を実施したいと考えており、新型コロナウイルスなどの感染拡大防止対策を盛り込んだ原子力災害時の避難計画を先行して取りまとめられた「女川地域の緊急時対応」を参考に、バス乗車前の体温測定、発熱等の症状のある方とそれ以外の方の車両を分ける、車内では座席の間隔を空けるなど、対策の確認をしたい。

訓練実施に当たっては、参加者が感染しないよう、参加する住民の数を制

限するほか、重症化リスクの高い高齢者施設や障害者施設などでの移動を伴う訓練の見送り、医療従事者及び保健福祉事務所職員の訓練参加者数の制限など、訓練におけるコロナ対策も併せて行うことを検討している。

今後、関係市町や関係機関と訓練実施に向けた協議を行いながら、コロナ禍における避難の在り方の基本的事項を確認していきたい。

## 産業労働



### コロナ禍における飲食業への支援

**問** 新型コロナウイルス感染拡大の影響から、様々な業種において多くの事業者が痛手を受けている。その中でも、飲食業においては、一度新型コロナウイルスの感染者が確認されると、その地域の飲食店の売上は激減し、その後も客足はなかなか元に戻らない厳しい状況となる。飲食業への支援について、県は今後どのように取り組んでいくのか。



**答** 夏以降、新規の感染確認が続いたことで、飲食業の方々は現在、大変苦しい状況にあると認識している。感染拡大防止と社会経済活動の両立

は大変難しいものであるが、「支え愛局面」の際には、街に出て社会経済活動をしっかり行うことが重要と考えており、このため県では、「SAGAナイトテラスチャレンジ」第2弾や第3弾の実施などを通して、感染予防対策に留意しながら、支え合いのムードを高めていきたいと考えている。

今後は、総額75億円、60万セットのGOTOイートキャンペーンもスタートすることから、できるだけ早期に実施できるよう庁内に検討を指示しており、今後とも、佐賀県らしいお互いの支え合いの気持ちで、オール佐賀で飲食業の方々を支えていきたい。



▲SAGAナイトテラスチャレンジ 第2弾の様子

## 農林水産



### 棚田地域の振興



**問** 棚田はその景観の美しさが文学作品にも描かれるなど、今なお日本の原風景の一つとして国民に安らぎを与え続け、全国的にも保全活動が行われている。また、食料の供給にとどまらず、国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成、伝統文化の継承などの多面的機能を有しており、国民共有の財産とも言える。

しかし現在では、人口の減少や高齢化の進展等により、棚田の保全や棚田の持つ多面的機能の発揮が困難な状況となってきた。

棚田地域を振興するため、県は今後どのように取り組んでいくのか。



**答** 棚田地域は、多面的機能を有しており、下流域の住民の方々がその恩恵を享受されていることから、将来にわたって適切に保全していく必要がある。

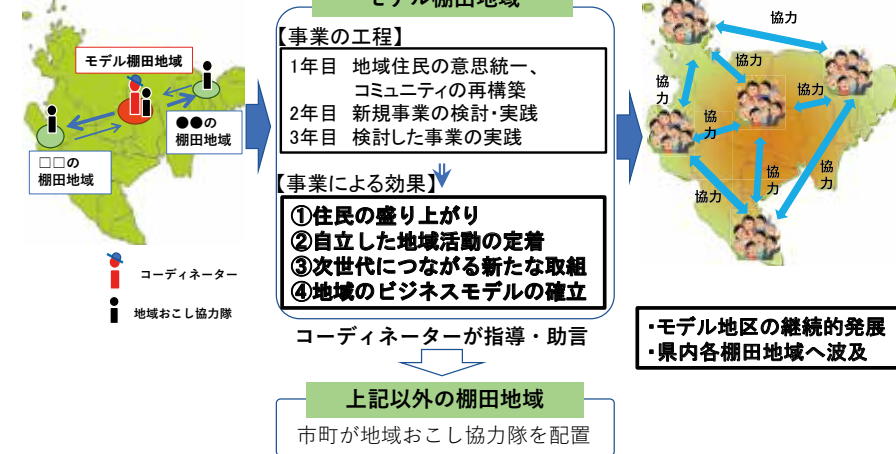
しかし、住民や農業従事者が減少するなど、地域住民の活動だけでは保全が難しい状況にあるため、県では地域の底力を引き出す支援策として、今年度新たに「中山間・棚田地域活性化推

中山間・棚田地域活性化推進事業  
地元密着型支援による自立した棚田地域づくりについて

取組の概要

棚田地域の活性化に向けた取組を引き出すことができる人材(コーディネーター)を棚田地域に配置し、地域の活力を取り戻すための自主的な取組に対してオーダーメイドの支援を行う。

事業開始時のイメージ図



進事業」を創設した。  
この事業は、県がモデル地域に配置するコーディネーターが、市町が配置する地域おこし協力隊と連携しながら、地域リーダーとして地域住民の意見をまとめたり、地域を盛り上げる活動や、モデル地域の取組を横展開するための県内棚田地域のネットワークを構築する活動を行うなど、地元密着型支援による自立した棚田地域づくりの

取組を支援していく。  
将来的には、都会では体感できない時間や空間を満喫できるといった棚田ならではの地域資源を活用したビジネスモデルの構築など、地域活動の盛り上がりを期待している。  
棚田地域の保全を図るためには、それぞれの棚田地域において、将来のビジョンが描かれ、リーダーを中心とした取組が実行されることが重要と考え

ており、今後とも、各棚田地域で住民の機運が高まり、棚田地域の振興に繋がるよう支援していく。



▲棚田の四季 彼岸花(小城市江里山)

教育

コロナ禍における児童生徒への対応

**問** 新型コロナウイルス感染症の拡大によって、学校は一定期間の休校を余儀なくされ、学校行事の中でも重要な入学式や体育大会等においては、感染防止策を徹底しながら、時間短縮や内容の削減などの工夫を

して実践している。児童生徒にとっては、突然の一斉休校に続き、緊急事態宣言による休校の延長、卒業式の規模縮小など、想像できないほどのショックを受けているのではないかと考えるが、児童生徒の心のケアの充実に向けて、学校や県教育委員会はどのように取り組んでいくのか。

**答** 県教育委員会では、新型コロナウイルス感染症の正しい知識や認識を持ってもらうため、最新の知見に基づいた情報や指導資料を学校に提供したり、児童生徒や保護者に対しては、チラシを配布するなどの周知を行っている。  
心のケアについては、学級担任や養護教諭を中心に児童生徒の心身の状況を把握して相談に応じたり、スクールカウンセラーによる支援や24時間体制の心の相談窓口を紹介するなど、組織的な相談体制を整備している。  
今後も児童生徒の心のケアの充実とともに、児童生徒が安心して生き生きと活動できる魅力ある学校づくりに取り組んでいく。



## 委員会

常任委員会及び特別委員会の審議の過程で、付託議案等について、次のような意見や要望、質疑事項が申し述べられました。

### 総務常任委員会

#### 委員会審議

県内視察を含め審議が行われ、付託議案の9件が原案可決、2件が同意されました。

#### 【主な付託議案】

- ・一般会計（補正）予算関係分
  - ・特別会計（補正）予算
  - ・県事業に対する市町の負担について
  - ・教育委員会委員の任命について
  - ・公安委員会委員の任命について
- #### 【主な質疑事項等】
- ・離島を含む原子力災害時の避難計画の現状や課題、原子力防災避難円滑化事業及び今後の取組
  - ・台風第10号における県内市町の避難所の開設状況、定員に達した避難所の対応及び今後の取組
  - ・私学助成の状況や県の取組内容、及び佐賀県私立学校退職基金社団への補助の在り方
  - ・佐賀県行財政運営計画の状況、県財政の収支見通し及びコロナ禍におけ

る今後の財政運営

- ・くすかぜ広場基本計画策定業務の委託事業者決定までの経緯、県内における人材育成及び今後の再整備のスケジュール
- ・投票率向上の取組み及び投票所の新型コロナウイルス感染症対策
- ・交通安全施設の役割や重要性、横断歩道等の補修や信号機整備の状況、及び整備充実に向けた今後の方針



▲総務常任委員会によるみんなの公園（江北町）の視察

### 文教厚生常任委員会

#### 委員会審議

県内視察を含め審議が行われ、付託議案4件が原案可決されました。

#### 【付託議案】

- ・一般会計（補正）予算関係分
- ・特別会計（補正）予算
- ・訴えの提起について

・請負契約の変更について

#### 【主な質疑事項等】

- ・コロナ禍における野外活動について、県内市町のキャンプ場の現状、新しいアウトドアスタイルの提案による利用者増加、交流人口の増加を通じた地域活性化及び県内少年自然の家での自然体験活動と指導者養成を通じた野外活動の推進
- ・「佐賀県手話言語と聞こえの共生社会づくり条例」の規定に基づく、聴覚障害者への支援の取組状況及び一定の成果と課題を踏まえた今後の県の取組
- ・新型コロナウイルス感染症による、「がん検診受診への影響と、「新しい生活様式」の中での受診率向上に向けた今後の取組
- ・待機児童数の推移と、放課後児童クラブの施設整備の状況、放課後児童支援員の確保への取組及び待機児童解消に向けた今後の取組
- ・特別支援学校のスクールバスの導入の経緯と通学支援の考え方及び新型コロナウイルス感染症対策でのスクールバス増便の考え方と対応期間
- ・市町立小・中学校における特別支援学級数、児童生徒数、特別支援教育支援員配置数の推移と特別支援教育支援員の拡充の必要性、県立特別支援学校の整備の状況

### 農林水産商工常任委員会

#### 委員会審議

県内視察を含め審議が行われ、付託議案の5件が原案可決されました。

#### 【主な付託議案】

- ・一般会計（補正）予算関係分
  - ・県有財産の取得について
- #### 【主な質疑事項等】
- ・県内企業倒産の状況とその受け止め、求人倍率等の状況及び新型コロナウイルス感染症の雇用への影響
  - ・新型コロナウイルス感染症の影響下における県内商工業者への支援策とその効果



▲文教厚生常任委員会による武雄市こども図書館（武雄市）の視察

着手する理由及び事業主体への関わり方並びに今後の他業種・業態への支援策

・スマート農業の現状と推進の必要性、県内での取組事例やスマート農業機械を用いた農業高等学校での取組及び推進に向けた今後の取組



▲農林水産商工常任委員会によるみどり地区トマトトレーニングファーム(鹿島市)の視察

・新型コロナウイルス感染症の影響下における肥育農家の現状と肉用牛肥育経営安定交付金(牛マルキン)の発動状況、「佐賀牛等肥育素牛導入緊急対策事業」の進捗状況と事業継続の必要性

地域交流・県土整備常任委員会

委員会審議

県内視察を含め審議が行われ、付託議案3件が原案可決されました。

【付託議案】

・一般会計(補正) 予算関係分  
・特別会計(補正) 予算  
・訴訟上の和解について

【主な質疑事項等】

・九州佐賀国際空港における新型コロナウイルス感染症防止対策と、コロナ禍の影響を受けた航空会社やテナント等への支援

・国土交通省鉄道局から提案された環境影響評価の受け入れとフル規格の受け入れが「同義」であると判断する県の考え方

・九州新幹線西九州ルートに係る国や長崎県及びJR九州との協議のあり方と今後の県の対応

・スマートインターチェンジの設置目的と県内の設置状況及び山浦スマートインターチェンジ(仮称)設置の必要性に関する県の認識



▲地域交流・県土整備常任委員会による唐房トンネル(唐津市)の視察

佐賀空港・有明海問題対策等特別委員会

付託事件について執行部に対する委員会審議が行われました。

【主な質疑事項等】

・佐賀空港の自衛隊使用要請への漁業者や有明海漁協の理解促進に向けた取組内容

・有明海漁協との公害防止協定覚書付属資料の変更に関するこれまでの協議に対する認識

・県民や地元自治会に対する県の対応状況

・地権者説明会に対する県の認識と専門部署設置等の対応及び防衛省の体制強化の必要性

・佐賀県農協、佐賀市及び柳川市の理解を得るための取組

・佐賀市長の立場と発言に対する県の認識

・オスプレイの事故に関する情報入手の対応状況

・オスプレイが木更津駐屯地に暫定配備されたことによる有明海漁協との協議スケジュールへの影響

・県と防衛省の合意事項である協議会や基金等の検討状況

・開門調査を含む有明海の環境変化の原因究明に対する認識

新幹線問題対策等特別委員会

閉会中の9月2日に国土交通省鉄道局の寺田次長と(独法)鉄道建設・運輸施設整備支援機構の湯山理事を参考人として招致し、「九州新幹線西九州ルート」のこれまでの経緯と今後の整備のあり方」について、意見を述べただけ、質疑が行われました。

【主な質疑事項等】

・フリーゲージトレインの導入断念の経緯と理由、責任の所在及び県への説明の必要性

・六者合意の今後の取扱いにおける国の認識

・フル規格整備における国のルートの考え方

・県の実質負担額と財政的影響に関する国の認識

・それぞれの整備方式に対応する環境アセスメントの内容と国の提案理由及び県が同意する場合の期限

・九州新幹線 西九州ルート新鳥栖-武雄温泉間の事業費の積算内容と財源に関する新たなスキームの提案の可能性

・今後の県との幅広い協議に向けた国の姿勢

・環境アセスメントの受入れが、フル規格容認でないことに関する文書の請求

## 9月定例会で条例などが次のとおり可決されました。

### 《条例（4件可決）》

- 漁業法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例  
（内容：職員の損害賠償責任の一部免責条例の改正海区漁業調整委員の公選制の廃止等に伴い、同委員の県に対する損害賠償責任の上限を改めるもの）  
・職責に応じた乗数を次のとおりとする。  
（改正前）基準給与年額×4  
（改正後）基準給与年額×2）、他
- 佐賀県手数料条例の一部を改正する条例  
（内容：肥料取締法の名称が「肥料の品質の確保等に関する法律」に改められたことに伴い、引用している法律名や条項を改めるもの）
- 住民基本台帳法施行条例の一部を改正する条例  
（内容：肥料取締法の名称が「肥料の品質の確保等に関する法律」に改められたことに伴い、引用している法律名を改めるもの）

- 佐賀県個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例  
（内容：行政手続における利便性の向上を図るため、マイナンバーを利用できる事務を追加するもの）  
【追加する事務】  
高等学校等の専攻科の生徒への修学支援、奨学給付金に関する事務）

### 《意見書（4件可決）》

- 私学助成の充実強化等に関する意見書
- 地方財政の充実・強化を求める意見書
- 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書
- 地方自治体のデジタル化の着実な推進を求める意見書

### 《決議（1件可決）》

- 九州新幹線西九州ルートに係る国との協議に関する決議

## 会議録のご案内

県議会のホームページ（<http://www.pref.saga.lg.jp/gikai/>）で、本会議や委員会の会議録がご覧いただけます。気になる「ことば」やキーワード入力で、知りたい議事内容を、平成11年分から簡単に検索することができます。

※平成10年以前の会議録は議会図書室でご覧になれます。

### 議会図書室利用時間：

月曜日から金曜日までの午前8時30分から午後5時15分まで（祝日、年末年始を除く）



会議録のページへ



## インターネット中継・録画放送のご案内

### インターネット中継

本会議及び各委員会の様子をリアルタイムで視聴できます。インターネット中継は、開会中のみご覧いただけます。



インターネット中継のページへ

録画中継のページへ



### 録画放送

インターネット中継の日から3営業日後を目途に公開しています（土日祝除く）。平成29年4月以降の映像を公開しています。

### 佐賀県議会



録画放送HP

お詫びと訂正

前回発行した「議会だよりNo. 46号」の記載に一部誤りがありました。訂正の上お詫び申し上げます。  
【正】 牟田辺遊水地（牛津川） 【誤】 牟田部遊水地（牛津川）

お読みになったご感想やご意見をお寄せください

## 佐賀県議会事務局政務調査課

〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番45号  
TEL 0952-25-7306 FAX 0952-25-7279  
E-mail gikai@pref.saga.lg.jp  
ホームページ <http://www.pref.saga.lg.jp/gikai/>

「インターネット会議録画」や「会議日程」、「会議録」などがご覧いただけます。

佐賀県議会 検索